

PROG スコアと学内データとの相関分析

多摩大学

1、グローバルスタディーズ学部 2019 年度学修状況調査 「アルバイト時間」

2019 年度は「1 年次リテラシー」が高い学生のアルバイト時間が長く、「1 年次リテラシー」が低い学生のアルバイト時間が短い。

2、グローバルスタディーズ学部 2019 年度学修状況調査 「スマホ利用時間」

1 年次コンピテンシーが低いと、スマホ利用時間が長く、
1 年次コンピテンシーが高いと、スマホ利用時間が短い。

3、グローバルスタディーズ学部 2019 年度学修状況調査 「TV・DVD 視聴時間」

1 年次コンピテンシーが高いと、テレビ DVD 時間が短くなる。
1 年次コンピテンシーが低いと、テレビ DVD 時間が長くなる。

4、経営情報学部 2019 年度学修状況調査 「自主的勉強時間」

1 年次コンピテンシーが高いと、自主的勉強時間が長め。
1 年次コンピテンシーが低いと、自主的勉強時間が短め。

5、経営情報学部 2020 年度卒業生アンケート 「多摩大全体満足」

コンピテンシー諸項目は、相関計数分析では、有意な正の相関がある。

6、グローバルスタディーズ学部 2021 年度調査のクロス集計 「学外友人数」と「3 年次コンピテンシー総合」

- (1) 学外友人数が増えるに連れて、3 年次コンピテンシー「1」の比率が下がる傾向がはっきりと見て取れました。学外友人数が「4 人以上」になると、コンピテンシー「1」の比率が 16%程度に下がります。
- (2) 3 年次コンピテンシーが「4 以上」では、学外友人数「0」がいなくなります。
- (3) 3 年次コンピテンシーが「5 以上」では、学外友人数「0」「1」がいなくなります。